

次号の特集予告

277 巻 11 号(2021 年 6 月 12 日発行)

NMDA 受容体と精神疾患

企画：橋本謙二(千葉大学社会精神保健教育研究センター病態解析研究部門)

- ・グルタミン酸受容体のひとつである NMDA 受容体は精神疾患の病態に深く関わっていることが知られている。NMDA 受容体遮断作用を有するケタミンをヒトに投与すると、統合失調症と酷似した症状を惹起する。
- ・このことから、統合失調症の NMDA 受容体機能低下仮説が提唱され、多くの研究者に支持されている。また、NMDA 受容体抗体による精神症状発症もこの仮説を支持している。
- ・本特集では、第一線で精神疾患と NMDA 受容体について研究をされている基礎から臨床の先生方に執筆いただく。専門外の方にも精神疾患における NMDA 受容体の最新情報を理解できると信じている。